

自分のもち自分の手で（4年生）

この度のもちつきでは、食中毒防止や新型コロナウイルス感染防止等の対策として、自分の餅は自分で作って持ち帰っています。

子どもたちは、しっかり感染防止対策を行いながら、もちをまるめました。子どもたちにとって手袋をつけての作業は大変難しかったようです。手袋に、もちがくっついてしまい、なかなかまるめられなかったようです。

子どもたちは、「手袋に、もち粉（片栗粉）をつけてからまるめるとくっつかないよ。」という助言を参考に、丁寧にもちをまるめることができました。



片方の手のひらを真っすぐにして、その上にもちをのせま
す。もう片方の手を丸くして、手のひらの上でころころおもち
を転ばしながら、まるめていきます。

感謝の会を行いました（3・4年生）

11月25日（金）の『もちつき』の後、体育館において、3・4年生が環境ボランティアさんをお招きして『感謝の会』を行いました。

25日に無事『もちつき』ができたのは、代かき、田植え、田植え後の稲のお世話（水の管理・除草等）、稲刈り、脱穀等、環境ボランティアさんの支えがあったからこそです。

子どもたちは、『感謝の会』を通して、感謝の気持ちをボランティアさんに伝えました。

《感謝の会より》



ボランティアさんの入場です。
拍手でお迎えしました。



3年生は、3つのグループに分かれて、田植えや稲刈りの様子を表現しながら、感謝の気持ちをボランティアさんに伝えられました。



ボランティアさん、環境体験学習では、大変お世話になりました。米作りを通して、お米を育てる大変さがわかりました。これからは、お米一粒一粒も大切にしようと思いました。



環境ボランティアさん
大変お世話になりました。ありがとうございました。